



【豚熱ワクチン】 用法用量を守った接種を 実施しましょう!!



豚熱ワクチンの接種方法について、

- ✿生産者からの接種用量や日齢の問い合わせ
- ✿他自治体からの導入豚のワクチンプログラムの相談が増加しています。

豚熱ワクチン接種は、**ワクチン添付の使用説明書**に従い、**用法用量どおり**に実施して下さい。

【接種方法】

- ✿接種部位は耳根部、筋肉内注射（あるいは皮下）

✿**1ml/1回**

- ✿新生子豚へは30～40日齢で接種

- ✿母豚は初回接種後、6ヶ月後に補強接種

その後は1年後→1年後と追加接種

例) 30～40日齢→6ヶ月後（約7ヶ月齢）→1年後→1年後

※4回まで追加接種

【ワクチン管理方法】※獣医師向け

- ✿保管する場合は**4℃**で、定期的な保管庫の温度確認を!

- ✿ワクチンを溶解してからは速やかに使用

豚熱ワクチンの接種事項については、「**豚熱に関する特定家畜伝染病防疫対策指針**」で定められています。本指針から逸脱した内容で接種し、患畜発生した場合には、家畜伝染病の発生又はまん延を防止するために必要な措置を講じなかったとして、手当金減額の可能性もあります。

減額事例一覧：https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/kouhukin.html

